

■第5回牧野植物園磨き上げ整備基本構想検討委員会検討事項

委員	基本構想案について
A委員	<p>P19 台湾ツツジの植栽展示</p> <p>今回の整備計画で植栽の整備は他で触れられていない。この項目のみ入れるなら重要な整備ということになり、しっかりした計画を提示すべき。</p> <p>台湾ツツジ→台湾産ツツジ属 何種類あり、必要面積、植栽後の効果、追加収集の必要性等のある程度の明記も必要</p> <p>改善案として「生植物コレクションの展示の充実」とし、既に圃場に収集されている植物を有効利用し、学術上・集客上有効な植栽展示を行う</p> <p>「例えば台湾産ツツジ属植物の展示公開」</p> <p>植え出した後の圃場利用として将来の展示のために重要な植物の収集を進める</p> <p>長江圃場の移転に多額の予算を計上することとなるため、その意義を示しておくことにもなる。</p>
B委員	<p>新研究棟の建替を明確化したのは良いこと。 耐震が問題を抱えており、放置して使い続けて大丈夫かという視点もある</p> <p>P21 整備スケジュールについて、5つをどの順番で整備するのか、目安を記載しておかないと、すぐに着手しなかった場合、どう手をつけたらよいか分からなくなるのでは。</p>
C委員	<p>これまで議論してきた内容が盛り込まれ全体として整理できている 学びや憩いの場、貴重な展示品の公開、バリアフリー化、道路の整備など今後の取り組むべき方向性は見えてきた。</p>
D委員	<p>牧野植物園における研究は、植物の多様性とその有用性(薬効成分)の理解が、車の両輪のように両方深まっていくようにしなければいけないと思う。</p>
E委員	<p>分かりやすく、良い。 敢えて気になる場所として、 シビック・プライドを高めることで、県内外、外国からの観光客獲得につなげる流れを明確化する。 インターナルマーケティング→エクスターナルマーケティングの順が正しく、地元の人が心から素晴らしいと思う場所であれば、県外の方の満足度は高まる。</p>